

くすりのしおり

内服剤

2024年04月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：テモダールカプセル 100mg

主成分：テモゾロミド(Temozolomide)

剤形：白色不透明のカプセル剤、長径 19.2mm、短径 6.6mm

シート記載など：TEMODAL、100mg



この薬の作用と効果について

腫瘍細胞の増殖を抑え、抗がん作用を示します。

通常、悪性神経膠腫、再発または難治性のユーイング肉腫の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。出血傾向、腎障害、肝障害、感染症、水痘がある。
- ・妊娠、妊娠している可能性がある、授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・初発の悪性神経膠腫：放射線療法と併用し、通常、成人は主成分として1回 75mg/m²（体表面積あたり）を1日1回連日 42日間服用し、4週間休薬します。その後、本剤単独にて、主成分として1回 150mg/m²を1日1回連日 5日間服用し、23日間休薬します。この28日を1クールとし、次クールでは1回 200mg/m²に増量することがあります。
再発の悪性神経膠腫：通常、成人は主成分として1回 150mg/m²（体表面積あたり）を1日1回連日 5日間服用し、23日間休薬します。この28日を1クールとし、次クールで1回 200mg/m²に増量することがあります。
- ・再発または難治性のユーイング肉腫：イリノテカンと併用し、通常、主成分として1回 100mg/m²を1日1回連日 5日間服用し、16日間以上休薬します。これを1クールとし、服用を繰り返します。なお、状態により適宜減量することがあります。
本剤は1カプセル中に主成分 100mg を含有します。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・カプセルは開けず、また、かみ砕かずに十分量の水とともに飲んでください。カプセルの内容物が身体に付着した場合は、速やかに洗い流してください。
- ・吸収を高めるので、できるだけ空腹時に服用するようにしてください。食後では吸収率が低下します。
- ・服用後に嘔吐があらわれることがあります。その場合、カプセルが吐き出されたかどうかにかかわらず、嘔吐した当日中にもう一度この薬を飲んではいけません。
- ・飲み忘れに気づいた場合には、その薬は飲まずにとばして、次の決められた時間に次の薬を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・医師の指示を守って定期的に血液検査を受けてください。
- ・妊娠する可能性のある人は、この薬の使用中小よび使用終了後 6 ヶ月間は適切な方法で避妊してください。
- ・男性は、この薬の使用中小よび使用終了後 3 ヶ月間はバリア法（コンドーム）を用いて避妊してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、倦怠感、頭痛、貧血、吐き気、嘔吐、食欲不振、便秘、下痢、疲労などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・貧血症状、発熱、出血傾向 [骨髄機能抑制]
- ・発熱、咳、痰 [ニューモシスチス肺炎、感染症]
- ・発熱、から咳、呼吸困難 [間質性肺炎]
- ・頭痛、嘔吐、片麻痺 [脳出血]
- ・呼吸困難、蕁麻疹、眼や口唇周囲の腫れ [アナフィラキシー]
- ・全身倦怠感、食欲不振、皮膚や結膜などの黄染（黄色くなる） [肝機能障害、黄疸]
- ・発熱、中央に浮腫を伴った紅斑（赤い発疹）、眼球粘膜の充血 [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

SI①